



中学校だより

門川町立門川中学校

令和4年5月20日
文責：教頭 福重 雄一

= よろしくお願ひします。 =

この度、門川中学校に赴任してまいりました、教頭の福重雄一（ふくしげ ゆういち）と申します。8年前まで6年間門川中学校で勤務してましたので2度目の門中勤務となります。3月の人事異動で、前任校の校長先生から門川中学校への異動を聞いた時、うれしくて思わず「ありがとうございます。」と言ってしまうました。門川中学校では、「生徒の思い」だけでなく「保護者の思い」・「地域の思い」の大切さを教えてもらった私にとって教育の原点となった学校です。少しでも恩返しできるよう頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

= メディアコントロール =

中学生は、生まれた時から身近にICT機器やインターネット環境があり、大人に比べると、何の抵抗もなく使いこなしています。GIGAスクール構想により、学校でも一人一台タブレット型端末が配置され、授業でも活用するようになりました。生徒たちはあっという間に操作に慣れ、分からない時は生徒同士で教えあう姿も見られます。

機器を使いこなす生徒たちの様子に感心する一方で、課題もあります。昨年度、本校で実施したアンケートの結果を見ると、3時間以上スマートフォンを使用していたり、ゲームをしたりする生徒が27%いました。使用目的もSNSやゲームなどほとんどが学習以外の使用でした。

長時間、スマートフォンやゲーム等のメディアを使用すると、ドライアイやスマホ老眼、疲れ目による肩こりや頭痛を起こすことがあります。また、寝る直前までスマートフォン等を見ていると、ブルーライトの影響で、眠りを促す「メラトニン」というホルモンが出にくくなり眠れなくなります。結果、夜遅くまで起きていて朝起きれなくなり、朝食を抜いたり授業に集中できなくなったりするという悪循環を生みます。健康被害にあわないためにも、利用する時間を決めたり、使うメディアの内容を家庭で話し合う必要があると思ひます。

また、毎年のようにSNSによるトラブルも起きています。面と向かっては言わないことを、相手の顔が見えないので書いてしまったり、短い文章で表現するため誤解が生じたりするケースも見られます。つぶやいた先にいるのは、自分と同じ感情を持つ人間だということも忘れないでほしいと思ひます。ご家庭でもルールを決めているとは思ひますが、時々子どもたちと見直してください。よろしくお願ひします。



